

「^{ニュース}News」

米国精神医学会（APA）が5月の年次総会で発表した『精神障害の診断と統計の手引き』の最新版DSM-5をめぐるシンポジウムが5月23日、福岡市で開かれた日本精神神経学会総会で行われた。シンポの基調講演で、東京医大の松本ちひろ氏が障害の分類やうつ病の診断基準などの変更点について解説した。

松本氏によると、DSM-5では、自閉症やアスペルガー症候群などの発達障害の診断名を「自閉症スペクトラム障害」というカテゴリーに一括し、1つの連続した障害と捉える。診断では、①コミュニ

DSM-5の発達障害分類やうつ基準を解説 精神神経学会

ケーションや興味の限局性・破局性、②行動の反復性—の2つの重症度を判定し、診断名を特定する。

また、うつ病の診断基準も一部変更。「愛する者」との死別後2か月以内の抑うつ反応を診断要件から除外していた従来の規定が削除された。これについて松本氏は、「（変更は）死別から間もない時期に治療が必要な人を診断対象とするため、すべての抑うつ反応をうつ病と診断するのではない」と説明した。

（日本医事新報・No. 4650 2013年6月8日）

「^{ニュース}News」

日本盲人社会福祉施設協議会（日盲社協）は5月10日、国内の盲導犬訓練施設10団体による2012年度の盲導犬育成数が、前年度比11頭減の125頭と発表した。そのうち、新規に盲導犬を持つ人に貸与されたのは41頭、既に貸与されている盲導犬の代

盲導犬の育成、12年度は125頭 日盲社協

替として貸与されたのは84頭。

盲導犬の実働数は2013年3月31日現在1,013頭で、前年に比べ30頭減った。

（福祉新聞・第2624号 2013年6月3日）

「お知らせ」

日時：2014年1月11日（土）10:00～17:00
（受付9:30より）

会場：兵庫医科大学 平成記念会館

対象：がんのリハビリテーションに興味のある医療職の方すべて

参加費：3,000円（事前申し込み不要）

抄録募集：一般演題の抄録を応募しております。10月末日までに申し込みフォームを用いて連絡先までメールでご連絡ください。なお、採否および発表形式については事務局にご

第3回 日本がんリハビリテーション研究会 （旧がんのリハビリテーション懇話会）

一任ください

一般演題申し込みフォーム：演題名、所属、職種、主演者、抄録（600字程度）

主催：日本がんリハビリテーション研究会

事務局（一般演題応募、問い合わせ先）：亀田総合病院リハビリテーション科 宮越浩一

☎296-8602 千葉県鴨川市東町929

Tel 04-7092-2211

E-mail: km-reha@kameda.jp

WEB: <http://www.cancer-reha.com/>